

12

12月議会に市の水道料金値上げについての条例が提案されます。市は自治体独自の水道事業をおこなっており、市の水道水は、8割が市内の井戸水で、残りの2割が東京都から購入した水道水でなっています。

東京都から購入している水道水の値段（分水料金）が、2008年度決算に換算すると3億7000万円程度値上げになることから、市の現行の水道料金では大幅な赤字になる見込みとなりました。

また、市の水道料金値上げの理由としては、「災害など万が一のときにも安定的に水道水を供給するために、排水施設の耐震化等を計画的に整備する必要がある」ということもあげられています。

そのため、市では下の表のように、基本料金を値上げし、従量料金（使用した水道量の分だけかかる料金）に6～10 m³を新設することが提案されています。この市の水道料金値上げで、2億8000万円程度の増収になりますが、差し引き約9000万円の減収分は内部努力で補うとのことです。

基本料金の値上げは2010年4月から、従量料金の新設は2011年4月から予定されています。市の水道料金は、1995年から15年間据え置かれてきました（消費税率の5%への値上げ分を除く）。来年4月から値上げになると、16年ぶりの値上げになります。この値上げによっても、東京都の水道料金より高くなることは基本的にありません。

日本共産党武蔵野市議団は、10月27日に市長に提出した予算要望の中で、「経済危機により市民のくらしが深刻な中、市民の負担となる公共料金の値上げや市民サービスの削減は絶対におこなわないこと。特に、上下水道料金・給食費など市民生活に直結する分野の値上げはおこなわないこと」を申し入れています。

(1か月分・税別)

用途	呼び径	基本料金(円)			従量料金(1m ³ あたり、円)							
		現行	改定案	増加額	1～5m ³	6～10m ³	11～20m ³	21～30m ³	31～100m ³	101～200m ³	201～1,000m ³	1,001m ³ 以上
一般用	13mm	690	842	152	0	22 (新設)	125	170	210	280	360	410
	20mm	920	1,123	203								
	25mm	1,160	1,416	256								
	30mm	2,800	3,416	616	210			280	360	410		
	40mm	5,590	6,820	1,230	360							410
	50mm	18,850	21,301	2,451								
	75mm	40,300	45,539	5,239								
	100mm	83,200	94,016	10,816								
	150mm	143,000	161,590	18,590								
	200mm	312,000	352,560	40,560								
	250mm	429,000	484,770	55,770								
	300mm以上	715,000	807,950	92,950								
公衆浴場用		690	842	152	0	22 (新設)	100					

※通常は2か月ごとに請求